

たつの市臨時記者発表資料	
発表年月日	平成31年4月23日（火）
担当課	企画財政部企画課
電話	0791-64-3141

報道機関各位

大学生（4大学）による「地域創生アイデアコンペ」がスタート

大阪大学、甲南大学、同志社大学、兵庫県立大学の大学生による、柔軟な発想や創造力、市外から見た若者の視点による新たな政策を募集し、たつの市の活性化（まちの元気）につなげる地域創生アイデアコンペがスタートしました。

1 キックオフ会議

（1）開催日 平成31年4月20日（土）

10時50分～12時 市長あいさつ、事業概要説明、たつの市の紹介

12時～13時 昼食、グループに分かれての質疑応答

13時～17時 市内視察

（2）開催場所 ・兵庫県立先端科学技術支援センター（赤穂郡上郡町光都3丁目1-1）
・市内視察

2 参加大学 4大学9グループ

①大阪大学大学院 国際公共政策研究科 赤井伸郎 教授

大阪大学法学部国際公共政策学科 学生11名（3グループ）

②甲南大学 マネジメント創造学部 倉本宜史 准教授

マネジメント創造学部マネジメント創造学科 学生8名（2グループ）

③同志社大学 政策学部 田中宏樹 教授

政策学部政策学科 学生8名（2グループ）

④兵庫県立大学 経営研究科 橋本浩幸 准教授

経営学部事業創造学科 学生12名（2グループ）

3 コンペテーマ 「人口減少・少子高齢化への挑戦」

※コンペテーマの課題について各グループで個別テーマを定めて提案

4 今後のスケジュール

4月～7月 各グループでのフィールドワーク、調査・研究活動

7月下旬（予定） 政策アイデアコンペ発表会（たつの市内）

【参加学生からの質問・意見】

- ・交流人口を増やす施策と定住人口を増やす施策のどちらに注力しているのか。
- ・たつの市に住みたいと思えるものは何か。住んで良かったと思えることは何か。
- ・ショッピングモールなどを誘致して、地域活性化を検討してはどうか。
- ・醤油まんじゅうを初めて食べたが、美味しかった。
- ・河内地区でコーンメイズ（とうもろこし畑の迷路）を実施してはどうか。
- ・初めて来たが、たつの市は住みやすそうなまちだと感じた。
- ・市のインバウンド対策はどのようなことをしているか。
- ・市街化調整区域における建物用途変更（住居→カフェ）などは可能か。国家戦略特区のような制度を活用して進めることはできるのか。
- ・たつの市のPRポイントは。
- ・小宅校区の人口が増加しているが、どういった原因か。

【市長あいさつ要旨】

- ・4大学39名の学生の皆様、たつの市を元気にするために、このプロジェクトにご参加いただき心より感謝申し上げます。
- ・全国的な少子高齢化、人口減少という大きな流れの中で、本市においても、これまで様々な取り組みを行ってきたが、多くの自治体同様、人口減少を食い止めるには至っていないのが現状です。私自身、時間が許す限り、まちに出て市民の声をじかに聞き、まちの課題解決に取り組んでいるが、今回のように市外からの新たな視点によるまちづくりについては、このたびが、初めての試みであり、大変期待しているところです。
- ・平成もまもなく終わり、来月には、新しい時代「令和」が幕開ける。これからの時代を生きるのは、皆さんです。皆さんにとって、「どんなまちなら、行ってみたいか」、「どんなまちなら、住んでみたいか」。若い皆さんのアイデアや想いは、必ずや将来のたつの市のまちづくりに生かされるものと考えております。
- ・このプロジェクトにより、皆さんとたつの市が交流できることを大変うれしく思うとともに、若い皆様の情報力や柔軟な発想、創造力によって新たな政策が生まれることを期待する。
- ・いいアイデアがあれば、早速、来年度に実施したい。

【会議、市内視察風景】

